

令和4年度広島県学校安全表彰を受けました。

学校だよりで紹介しましたが、1月26日(木)に広島県教育委員会から令和4年度学校安全表彰を県内で1校だけ受賞しました。受賞理由は、本校が令和2年度から取り組んでいる総合的な学習の時間(防災教育)「日比崎サバイバルプロジェクト(通称サバプロ)」が評価されたものです。当日は、広島県教育委員会の平川理恵教育長から賞状と盾を授かりました。サバプロが表彰されることは、とても嬉しいことです。この三年間、生徒と教職員で毎年バージョンアップを繰り返しながら、取り組んで来た結果です。生徒・教職員・関係の皆様方と喜び合いたいと思います。今後も社会に開かれた教育課程として位置づけ取組を継続していきたいと思っています。

令和5年1月26日(木)

<学校安全>

尾道市立日比崎中学校

日比崎サバイバルプロジェクトを通じた主体的な学びの実現

令和2年度から、総合的な学習の時間を中心に、今後発生が予想されている南海トラフ地震に備えて、さまざまな方面からアプローチする「日比崎サバイバルプロジェクト(通称：サバプロ)」に取り組んでいる。

防災教育の単元において「南海トラフ巨大地震が発生しても、自分たちは助かることができるのだろうか?」という問いに対して、災害図上訓練(DIG)、「フィールドワーク」や「避難所運営ゲーム(HUG)」などの活動を通じて、防災に関する知識・技能を身に付けさせるとともに、思考・判断・表現させていくことで、主体性を発揮し一定の根拠をもって自分の考えを伝えることができる生徒の育成を目指している。

昨年度から、学習内容については3年生の「サバプロ」リーダーと生徒会執行部が中心となって企画している。今年度は、お互いにプレゼンし合って計画の見直しを図り、さらに事前学習を4日間行い、計画を実行した。そして、2学期終業式には、オンラインで全校生徒に報告会を行った。縦割り集団の3チームに分かれ、それぞれのリーダーが、自分たちでグループに指示を出して学習を進めるなど、より主体的に学習を進めている。

